

①豊田中学校地域防災拠点 「防災訓練」

②連合まつり 「防犯・防災フェスティバル」

日時：令和7年11月9日（日）

午前8時50分から午後3時30分

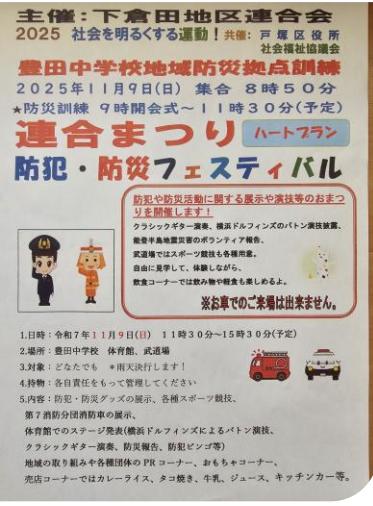
会場：豊田中学校 体育館、武道場

主催：下倉田地区連合会

豊田中学校地域防災拠点運営委員会

共催：戸塚区役所、社会福祉協議会





主催：下倉田地区連合会
2025 社会を明るくする運動！共催：戸塚区役所
社会福祉協議会
豊田中学校地域防災拠点訓練
2025年11月9日(日) 集合 8時50分
*防災訓練 9時間会式～11時30分(予定)

午前8時に、運営委員を中心に防災備蓄庫前に集合し、打合せの後、午前9時までに事前の準備を行ない、武道場でガスボンベ式発電機、および投光器の説明、並びに人命救助を中心としてのAED(心肺蘇生装置)の取り扱い方についての説明と実際に参加者による取り扱い方の訓練を行いました。

グラウンドでは、下水道直結式トイレの設営図面(立て看板)による説明を行ない参加者には、直接の設置ができない中でも理解を深めることができました。

午後からの「連合まつり」の開催も予定されていたため、防災訓練に参加できない運営委員は、体育館での会場設営準備等に尽力されました。予定通りの取組みを行なうことができました。

防災訓練には、自治会町内会の世帯数の1割として350名の参加を見込みましたが、10時30分までに参加の方にはカレーライスをふるまう旨の宣伝効果により、約200名の参加を得ることが出来ました。

訓練には、子供たちの参加も呼びかけましたが、生憎の天候により多くの参加を得ることができませんでした。『連合まつり』には、開会式典をはじめ、文化部、消費生活推進員、保健活動推進員、青少年指導員、民生委員児童委員協議会、下倉田地区連合会のからそれぞれ展示、出展ブースが出され、見学に来られた皆さまの協力が得られました。

また、舞台前では、下倉田バトン部による演技、横浜ドルフィンズによるアクロバット演技等が行われました。併せて、明治学院大学のボランティアサークルの方々による『能登半島地震災害』のボランティア活動報告や、明治学院大学戸塚まつり準備会の活動PRなどが行われました。

出演者、出展ブース参加者を含めて320名が集いました。

豊田中学校地域防災拠点 防災訓練

防災訓練開会式



ハマッコトイレ (下水道直結式)



発電機



心肺蘇生法 (心臓マッサージとAED)



連合まつり

防犯・防災フェスティバル



連合まつり開会式





催物



たこ焼き、カレーライス、牛 乳・ジュース、キッチンカー





下倉田バトン部

横浜ドルフィンズ



能登半島地震災害の報告 (明治学院大学 学生)



震災以前の能登半島

○輪島朝市

輪島朝市は千年以上の歴史を持つ的な市場で、約200軒の露店が並ぶ。新鮮な魚介類や地元の特産品芸品などが並び、観光客との温かあいも魅力です。

○白米千枚田

能登半島の白米千枚田は、海に面美しい棚田で、1004枚の小さなぼが斜面に広がります。四季折々景が魅力で、特に夕日やイルミネーションが人気の観光スポットです。

○のとじま水族館

のとじま水族館は、能登島にある型水族館で、約500種の海の生き展示しています。ジンベエザメの水槽やイルカショー、ペンギンなど見どころ満載です。

能登半島ってどんなところ?

石川県に位置する半島で海に面してあたかい人々と豊かな風土文化など魅力溢れる地域です

文化

能登キリコ祭りが有名で、様々な伝統的祭りがあります。輪島塗はとても丁寧に作られており100年ほど前のものでも、限れば当時の輝きを取り戻します。

食

海鮮を中心に様々なグルメが有名です

観光

のとじま水族館(左)、千枚田(右)など様々な

何が起きたのか

能登半島地震により、輪島市の観光名所「朝市通り」で大規模な火災が発生しました。震度7の揺れの約1時間後に起火し、約240棟が焼失、焼失面積は約5万平方メートルに達しました。火元は電気配線の損傷が原因とされ、木造密集地での延焼が拡大しました。消防活動は水不足や津波警報の影響で難航し、鎮火までに約15時間を要しました。

能登半島地震では多くの建物が被害を受け、特に石川県の珠洲市や輪島市では鉄筋コンクリート造のマンションが倒壊や傾きなど深刻な損傷を受けました。地盤の液状化や強い揺れが主な原因とされ、多くの被災者が避難所生活を強いられ、住宅再建が課題となっています。

能登半島地震による建物内の散乱状況は深刻です。多くの家屋では家具や食器棚が転倒し、書籍や食器類が床に散乱しました。特に古い木造建築では壁や天井の一部が崩落し、内部の片付けが難航しています。復旧作業は進んでいますが、被災地域では今なお散乱物の撤去や整理が続いており、生活再建への道のりは容易ではありません。

豪雨被害について

能登半島では地震からの復興途上で豪雨被害も発生しています。地震で脆弱になった地盤が雨で更に崩れ、土砂崩れや浸水被害が各地で報告されています。避難所生活を続ける被災者にとって二次災害となり、復旧作業の遅延や心理的負担が増大しています。私たちも3月にボランティアを行った際、泥のかき出しのお手伝いをさせて頂きました。

防犯ビンゴ





震災以前の能登半島

○輪島朝市

輪島朝市は千年以上の歴史を持つ伝統的な市場で、約200軒の露店が並びます。新鮮な魚介類や地元の特産品、工芸品などが並び、観光客との温かなふれあいも魅力です。

○白米千枚田

白米千枚田は、海に面した

能登物産展



HOKURIKU

がんばろう石川 能登

何が起きたのか



能登半島地震により、珠島市の観光名所「朝市通り」で大規模な火災が発生しました。震度7の揺れ約1時間後に発生し、約240棟が焼失。焼失面積は約5万平方メートルに達しました。火元は電気配線の損傷が原因とされ、木造密集地での延焼が最大でした。消防活動は水不足や波浪実験の影響で難航し、鎮火までに約15時間を要しました。



能登半島地震では多くの建物が被害を受け、特に石川県の珠洲市や輪島市では鉄筋コンクリート造のマンションが倒壊や傾きなど深刻な損傷を受けました。地盤の液状化や強震が主な原因とされ、多くの被災者が避難所生活を強いられ、住宅再建が課題となっています。